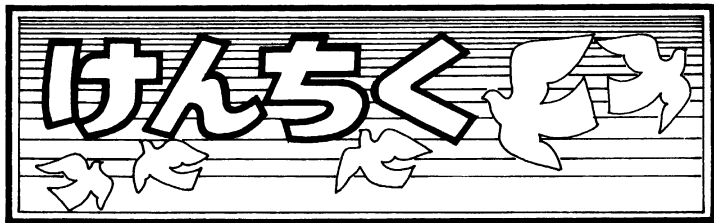


◎目黒区長選挙、区議会補欠選挙◎

GO VOTE

4月21日(日)は選挙に行こう



購読料は組合費に
含めて毎月徴収

東京土建一般労働組合
西南合同支部
渋谷区幡ヶ谷2-18-6
渋谷 6304-2315
世田谷 3413-3020
目黒 3719-2741
発行者 伊藤 勝伸
定価 1部 30円

第67回定期大会

仲間と共に組織強化を

4月7日(日) けんた顛末と今後の運動へ
せつプラザ東京にて来
賓7人、組合員96人の
出席で第67回定期大会
を開催しました。
さまの英知を集めて活
動を進めていきます。

来賓には、4月21日に行われる目黒区区長選挙に立候補を表明し（略）新役員の紹介（敬称

た、西崎つばさ都議会議員と伊藤ゆう都議会議員から挨拶と決意の言葉をいただきました。

執行委員長・佐藤忍
副執行委員長・岩城道昭、笠松浩之、君塚広一、佐藤豊、佐藤義光
書記長・勝間田康之

大会二日前の執行委 書記次長・山本雅人、
員会で、くじ引きによ 堀田祐子

り決まった3分會と、青年部・竹のこ会・秋の会からの活動経験報告もあり、どの報告も分会や専門部で独自に開催したイベントや学習会の内容が盛り込まれ

常任執行委員・朝倉友美、浅野和輝、新里紹一、山田陽一、横林誠征、新村健一、町田新一、山田陽一、横林誠會計監査・荒川正男、田邊純裕、渡辺正文執行委員

ました。2023年度はコロナ禍からの反動のように土日祝日関係なく、寝ても覚めても 高田充宏

仲間と顔を合わせる毎日だった事を思い返しました。

議案に対しての追加提案では、柿の木八雲分会の青木清さんから、目黒区が被災者を提訴していた「建物明渡等請求事件」について3月25日、東京地裁

目黒桜・岩井正太、小笠原裕幸
不動・高橋延好
原洗碑・高岸裕樹、遠矢修
柿の木八雲・澤口貴嗣、田邊康裕
みどり・森山佑介、磯貝史郎
月向・斉藤勇太

から被告は820万円
事業所・宇野誠・伊藤
を払えという全く不当
正人
な判決を突き付けられ
常任執行委員待遇

に就任



副委員長
松浩之さん

と並
今大会
した等

笠松副委員長による2500人めざして団結ガンバロウで閉会

まさか自分が
アスベストに
罹患するとは

2022年12月末頃から上半身右側面がピリピリと痛みはじめ、2023年1月、痛さが増してきたこともあり、かかりつけ病院を受診し「ピリピリと痛みを感じるし、レントゲンをとっても言っていない」と医師に伝えるとレントゲンをとることとなりました。映し出された胸の画像を見ながら「紹介状書くから」と大きな病院に行くように言われ時間を置かず受診し、採取した胸の細胞を検査すると中脾腫と判明、同時に芝診療所の藤井医師にもレントゲンを見てもらうと「これは中脾腫で間違いないね」と、先生は引き出しからおもむろに出した労災の申請書を、すぐ組合に持っていくように言われました。その後、国立がん研究センター中央病院で本格的な治療を開始しました。

毎年、東京土建検診を受診していました。胸のレントゲンでは再読影でも引っかかりませんでした。藤井医師も「見つけられないこともある」と言っていました。

大工になって43年、

2022年12月末から「紹介状書くか」と大きな病院に行くように言われ時間を置かず受診し、採取した胸の細胞を検査することになった。

にも、かきつづける病と中脾腫と判明、と同時に芝診療所の藤井医師にもレントゲンを見てもらうと「これは中

帯状疱疹じゃない」と医師に伝えると、先生は引き出しからおもむろに出した労働の申請書を、すぐ組合に持っていくようにした。

大工になって43年、
 アスベスト（石綿）が
 危険な材料と知ったの
 は、東京土建での安全
 衛生大会で初めて聞き



し、直ちに和解に応ぜよ！

東京訴訟 斥行動

29日

4陣4次

ました。健康を害する
とは知らずに、長年の
現場作業で吸い込んで
しまった結果だとは思
いますが、建築基準法

建材メーカーは被害者に謝罪
材メーカー
第4次提言
2024年3月
アスベスト原告団

い。
アスベスト原告団
佐藤豊

雑記帳

日本政府は、日米同盟の「抑止力強化」が日本を守る力だと常に強調しています。だが、抑止力とは何でしょうか？

抑止力とは、相手より自分の力が強くて相手に恐怖を与えることです。こちらが相手に恐怖を与えれば、相手も日本にもっと強い力で恐怖を与えようとする筈です。これはかつてアメリカとソ連が果てしない軍拡競争をして実に無駄な努力とお金を注ぎこんだ愚を繰り返すことです。「抑止力が平和を守る」という意見は全くの幻想です。相手に恐怖ではなく、安心を与えることこそ、最も安全な「日本を守る力」です。

GDP2%を超える軍事費は国民生活を破壊するものです。それは社会保障や暮らしのための予算を削減することになります。日本政府は軍事費増強に国債をあてようとしています。戦前の戦時国債の際限ない発行が侵略戦争の拡大を推し進めたものであることを、未だ私たちの記憶に鮮明に残っています。

日本の平和は日本に生きる私たちの手に委ねられています。

T・K

T.
K

消費税増税は反対

お花見宣伝、元気な声で



宣伝する佐藤豊副委員長

桜の花が咲き誇るかと思いきや、4分咲き程度の控えめな3月30日(土) 目黒川のほとり、目黒しんばし付近にて午後5時より「消費税増税反対お花見宣伝」を行いました。総勢20人、揃いの法被に身を包み、チラシを挟んだティッシュを配布し、元気な呼び声で署名活動に取り組みました。

30筆の署名が集まり、インボイスの導入、消費税増税に多くの人が反対で、より身近な問題へと世論の意識も変化しているのだと実感しました。

(H)



ティッシュを軽快に配る町田税対部長

お花見客が数多く行き交う中、佐藤豊副委員長らの宣伝で人々の足を止めて耳を傾けてくださる人に、さすが町田税対部長がティッシュを配ります。「ありがとう」とティッシュを受け取ってくれる人、「国が赤字なんだから将来の為に増税し、軍拡も必要」と主張する青年、「頑張ってください」と元気にカメラを回しながら署名してくれたユーチューバーっぽい三人組、裏金問題もあり、この国で生活をしている人にとって、とても関心の高い問題となってきた消費税。

もっと早くから関心が高ければ、もっと大きな運動へ繋がったかもしれない。ですが、悪くなる一方の消費税制なのだから、気づいた仲間から動き出す事、これが一番重要だと捉えます。

宣伝することで、言葉の通り、知らない人へ少しでも伝われば、興味を持ってもらえれば、これからでも大運動へ繋がります。



デモ行進時は快晴に

福島原発事故から13

原発を一刻も早く

全廃したいと決意新たに

3月20日に代々木公園で「フクシマを忘れない」「原発再稼働を許さない」「汚染水を流すな」の集会が開かれ、当日は6000人と支部より7人の参加がありました。

2011年3月11日から13年が経過しました。残念ながら、この大事件が私たちの記憶から薄れてくる中で全国各地の原発再稼働が進み、原発事故被災者も本格的に救援されていません。この度の能登半島地震でも珠洲市

に原発が作られていたと思うとゾッとします。

原発が作られないで本当によかった。作られていたら大惨事になっていた筈です。

1975年のこと、住民の原発反対運動により、電力会社の建設計画を断念させたので、このこともあます。ここでも日本は世界に先を争うように、自然エネルギー発電の開発研究・設置に動いています。従ってエネルギーのコストもどんどん下がっています。ここでも日本は世界に先を争うように、自然エネルギー発電の開発研究・設置に動いています。従ってエネルギーのコストもどんどん下がっています。

原発を一刻も早く全廃したいとの決意を新たにしたい、集会とデモ行進でした。

学芸大 黒澤利時

トイレなきマンションは

まさに税金の無駄遣い

年、いまだに原発は動いている。

国は、老朽化した原発を動かし、万が一の時避難経路の無い原発を再稼働させた。それどころか小さな原発を新しく作るつもりでいる。いったいこの国は、何を考えているのだろうか？

確かにCO2は出ない、でもブルトニウムはどんどん増えている。トイレの無いマンションを作り続けるのだらうか、まさに税金の無駄遣いだ。

原発事故の恐さは、福島で充分にわかったはずだ。それでも原発

3・20さようなら原発

界の流れに遅れてい

集会の後、「フクシマを忘れない」「原発再稼働を許さない」「汚染水を流すな」をシュプレヒコールしながら行進しました。

途中雨になりましたが、ビニールカップも支給され助かりました。

江戸東京たてもの園と神代植物公園へ

技対部が建物見学会



和傘問屋の店先の再現

きの屋根で驚きました。中に入ると江戸、大正、明治、昭和の建物が当時のままに復元されていたのには、みなさん感銘されていました。今回いろいろな職人さんが参加して下さいだったので、建物もいろいろな教えて頂きました。旧三井邸は、当時の建物としては良い材料を使用しているのと、技術建設料を考えた、今建てたらすごい事になると同行していた大工さんがおっしゃっていました。

またみなさんで行けたらと思います。

技術対策部部長 君塚広一

3月16日(土) 技術対策部が主催となり、建築見学会を行い、江戸東京たてもの園と神代植物公園に行きました。

当日は暖かく、天気にも恵まれ、参加者は18人でした。例年通りならば、たてもの園がある小金井公園は桜の見ごろなのですが、雨や寒い日が多かったかなのか、蕾のままでした。その点では残念と思う方もいらしたかもしれませんが。

たてもの園入口の屋根は改修間もないのか、神社やお寺のような、すばらしい銅板葺

柿の木八雲 千葉一郎

分会総会、活発に開く

不動

団結してガンバロウ



総会でのガンバロウの様子

3月20日(水)東京土建目黒会館で、不動分会総会を組合員19人、目黒支部奥山書記が参加し開催しました。

総会では「他区の人々は群会議に来ないので保険証を送っている。その後に入学金、労災書類など、ばらばらでくると時間も、お金もかかるので支部で送れる物は送るか書類をまとめて欲しい」「総合共済について」「書類のチェックの仕方」で振返りました。

最後は団結ガンバロウで来年度に向けて心をついにし終りました。

不動 佐藤諭

月向

つなげよう7年へ



多くの仲間が集まった

3月24日(日)月向分会第6回総会が月光原住区センターにて開かれた。コロナから今まで、組合員の皆さんの熱いつながりがあって住宅デー、健康教室、バスレク、新年の集いと大きな活動もできた一年となり、6回目の総会を迎えることができました。

新年度は、斉藤勇太分会長のもとで209人

会を開くことを決めました。

不動分会からは、今期退任する山口湧也青年部長から、次期青年部長に高橋龍賢さんが選出されます。山口さんは「青年部にいられるのもあと1年となり、新旧交代をし、これから高橋青年部長をサポートしていきたい」と話しました。

学芸大

取り組むべき課題は

3月24日鷹番住区センターにて、目黒支部学芸大分会第13回総会が開かれました。開会挨拶、議長・書記選出の後、日下分会長より挨拶があり、23年度の活動報告、会計報告、各専門部等々の報告があり、今年度の方針が提案され討論になりました。

討論では、私たちの生活がどんな状況にあるのか、東京土建として取り組むべき課題は何かが討論されました。各家庭に送られて来ている支部大会議案書を大会当日までに全員がよく読み、批判も含め全体として内容を練り上げ、支部大会を立派に成功させようというものでした。この課題を遂行する新役員を選出しました。分会長は再選された日下愛史さんです。

東京土建には、深刻さを一段と増す平和の課題、全労働者を覆いつくす低賃金、劣悪な労働条件、後継者養成の困難さ、社会保障制

学芸大 黒澤利時

東日本大震災から13年

郷里への思い祈る

東日本大震災の発生から3月11日で13年。大切な人を失った悲しみや、郷里への思いを

抱えながら祈りを捧げました。東京電力福島第一原発事故で大きな被害を受けた、約1年半前に町の一部で避難指示が解除された福島県双葉町では10日、犠牲者への追悼と復興への願いを込めた「たけなび」の原爆が、震災の記憶を後世に伝えるために、今年1月1日におきか、東日本大震災を風化させないと話したい。



気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館

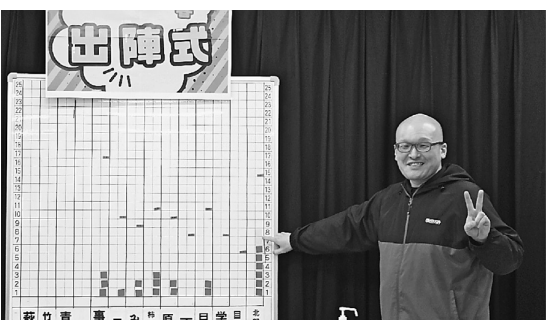
「またいつばい人が集まれるようになったらいいなと思う。みんなで助け合う町になったらいいな」そんな願いを込めて祈りました。

福島出身 奥山明

拡大出陣式開く

仲間を増やす大事な運動

2024年の拡大出陣式(決起集会)を4で行い25人参加しました。



スタートから調子の良い北部さくら

新副委員長となった笠松組織部長の挨拶のあと、各分会の決意表明とそれぞれ組織部長から持ち寄りの報告があり、出陣式に19人が一度に加入し、竹の会から3人の新しい

茶で乾杯です。支部財政も苦しい今、一番大事なのは仲間を増やす運動ですが、経費削減を徹底しながらもこの二カ月を奮闘する覚悟をみんなが持っています。春の拡大月間のそれぞれの目標達成に向けて参加者全員が団結しました。

(組織部K)

大豆トラストとみそ作り

大豆だけの話ではない

大豆トラストに5人参加

3月19日(火) 12時から支部会館でオンラインでの第26回大豆畑トラスト全国交流会に支部から5人で参加しました。

大豆畑トラスト運動を続けること、ここま

みそ作りにみんなで挑戦

笑顔でひとときを

大量の大豆製品が売られているにも関わらず日本の大豆自給率が6・8%であることを萩の会で学習し、私たちが参加しようと呼びかけていました、交流会の中で料理研究家の枝元なほみさんは「過不足ない土で育った野菜は、香りも日持ちも良く、もともと持っている野菜の力で腸内細菌を元気にしてくれる。美味しいものをどうやって未来に繋げたら良いか、広げることが出来るか、キッチンで働いている私たちが窓を開け、世の中と生産者と繋がって世の中を変えることが出来るのでは」と話されていました。

昨年、萩の会では大豆トラストに参加。草むしりや脱穀など大豆の成長にも関わり、収穫された小振りな品種の青大豆が届きました。

その大豆と麹、塩を準備し栄養士の先生に教わり無添加のみそ作りに15人が集い、みんなで挑戦しました。寒仕込みの1〜2月は過ぎた3月30日の春の仕込みでした。

花仕込みや桜仕込み大豆ともほぐし混

麺と塩を混ぜ、潰れた大豆と混ぜ合わせます



皆で大豆を混ぜ合わせます

めぐろ被災者を支援する会

不当判決に区長要請

東京地裁での2024年3月25日の裁判は、被告＝被災者にとっては全く不当な判決を受け、4月2日に目黒区長要請行動を行いました。



要請書を提出する
小林さん(右)

判決：主文

- 1 被告は、原告に対し、820万6790円及びこれに対する令和4年8月30日から支払済みまで年3パーセントの割合による金員を支払え。
- 2 訴訟費用は被告の負担とする。
- 3 この判決は仮に執行することができる。

今回の判決文は災害救助法第三条「救助の万全を期す」に対し、目黒区の対応に問題はなく自治体の裁量

でよいとする最低最悪な判決だと山川弁護士が断じました。

法の趣旨にのっとり東京都は都営住宅、世田谷区は区営住宅を被災者へ提供し、継続して居住できるようにしました。年金暮らしの現在も経済的な苦境が続いています。「住みたいまち、住み続けたいまち」というなら、すべての人にそう思えるやさしい目黒区であってほしい。私たちは話し合いによる解決を行うことを強く求め要請行動で要請書を提出しました。また年度替わりのため、関係部署に訪問しました。

第63回萩の会総会

新体制スタート

3月23日(土)に萩の会総会を目黒本町社会教育会館レクリエーションホールで行いました。各分会の活動報告では目黒中央分会の餃子つくり、学芸大学のちぎり絵の発表があり、分会での楽しそうな様子が伝わってきました。

会員組合役員、来賓、担当書記を含め45人の参加でした。学習会は4月に区長選挙がある

ので目黒区の区政を話して貰いました。明るく住みよい目黒を考える会、通称しろめくろめの会世話人の高村さんにお話ししました。現在4人の立候補がいること、目黒区の現



イスラエル・ガザ戦争の陳情の経過を話す青木清さん



今回の総会で勇退される
小松八重子さん(左)

く元気に、活動を繋げていくのはとても良いことです。これからもよろしく願っています。

最後に長いこと、萩の会で活躍された小松八重子さんが退任され、新たに鷺尾恵子さんを迎え、新体制のスタートです。今年も萩の会、頑張っていきたいと思います。

萩の会副会長
井上浩子

金平さんもおすすすめ映画

「戦雲(いくさぶむ)」三上智恵監督

3日の台湾地震でNHKが定点カメラで津波です、逃げてくださったと絶叫していた港、あれが与那国島です。7年前から自衛隊の基地が作られ、台湾有事？仮想敵国？への防衛計画が南西諸島で進められています。

映画終了後に監督と金平茂紀さんのトークでは、戦艦機隊の共同開発や輸出を解禁し、米



三上智恵監督(右)と
金平茂紀さん(左)

静かで美しい自然、厳しい開拓を乗り越え作りあげた暮らしが壊されていくさまを丁寧に描いた監督の執念がすくが列をなし、港に寄

今月の映画チケット★

映画

- ①「ゴジラ×コング 新たなる帝国」 一般1200円
- ②「システム・クラッシャー」 一般1200円
- ③「青春18×2 君へと続く道」 一般1300円
- ④「バジャーノイズ」 一般1300円
- ⑤「おいしい給食Road toイカメシ」 一般1300円
- ⑥「好きでも嫌いなあまのじゃく」 一般1200円
- ⑦「映画 それいけ!アンパンマン ばいきんまんといえほんのルン」 一般1200円 小人600円
- ⑧「映画クレヨンしんちゃん オラたちの恐竜日記」 一般1100円 小人500円
- ⑨ 東映ムビステ「邪魚隊/ジャコタイ」 一般1300円
- ⑩「ジョン・レノン 失われた週末」 一般1300円
- ⑪「ボブ・マーリー: ONE LOVE」 一般1300円
- ⑫「映画『からかい上手の高木さん』」 一般1200円
- ⑬「アニマル ぼくたちと動物のこと」 一般1200円
- ⑭「フィリップ」 R15+ 一般1200円
- ⑮「怪盗グルーのミニオン超変身」 一般1300円 小人600円
- ⑯「恋するピアニスト フジコ・ヘミング」 一般3000円

※3D上映は別途料金がかかります。
※座席不要のお子様、学生やシニア割引のお取り扱いが劇場によって異なります。
直接劇場にてご確認ください。